

- CWTW-Proの電鍵を接続した送信練習機能

CWTW-Proでは、実際に電鍵キーを COMポート「RS-232C」に接続した送信打鍵練習ができる。電鍵を接続しない場合は、キーボードの [SHIFT] や [CTRL] キーで代用できる。

COMポートの準備

デスクトップパソコンなどでCOMポートが装備されていれば、そのコネクタを利用する。ノートパソコンなどではCOMポートが装備されていないものは「USB-シリアル変換ケーブル」を利用する。

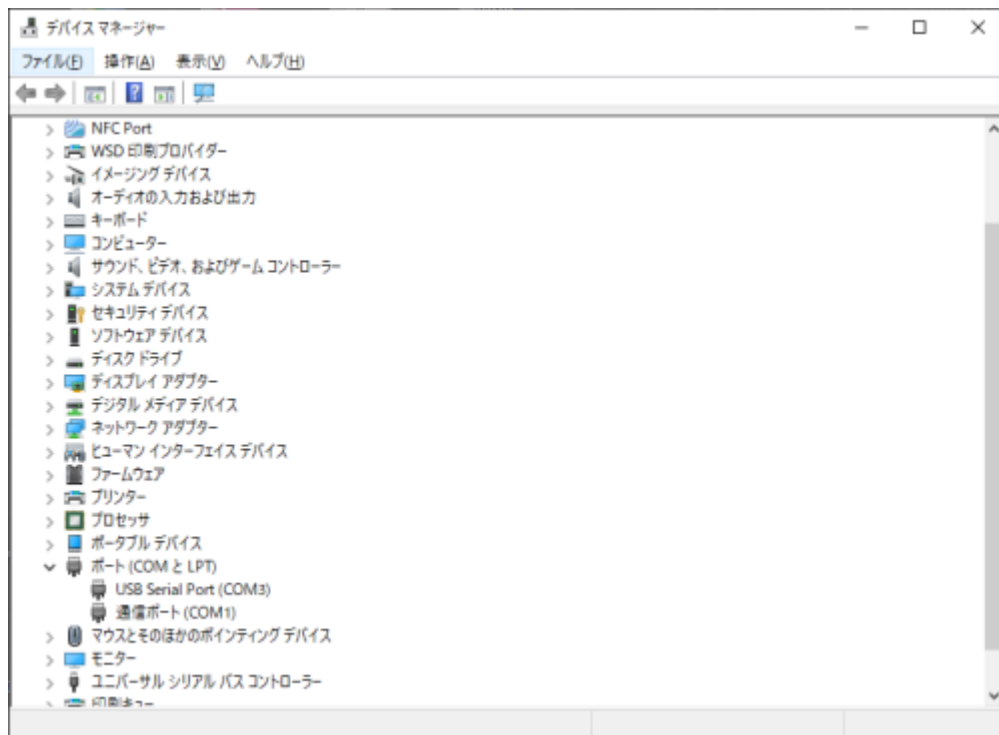
私が試したUSB-シリアル変換ケーブルは、iBUFFALOの「[BSUSRC0610BS](#)」を使った。下記記事でも紹介。

「[Windows10でFTDIチップ搭載のUSBシリアル通信を使う](#)」



この変換ケーブルには「FTDI製チップが使われているらしく、広く使われているICなのでWindows10では標準で使える。

変換ケーブルをパソコンに接続してCOMポート番号を確認する。



COM3 に割り当てられた。

電鍵との接続ケーブルを作成

電鍵は、縦振キー／エレキーのどちらでも利用できる。
9ピンのD-SUBコネクタ(雌側)を入手し下記の配線をする。

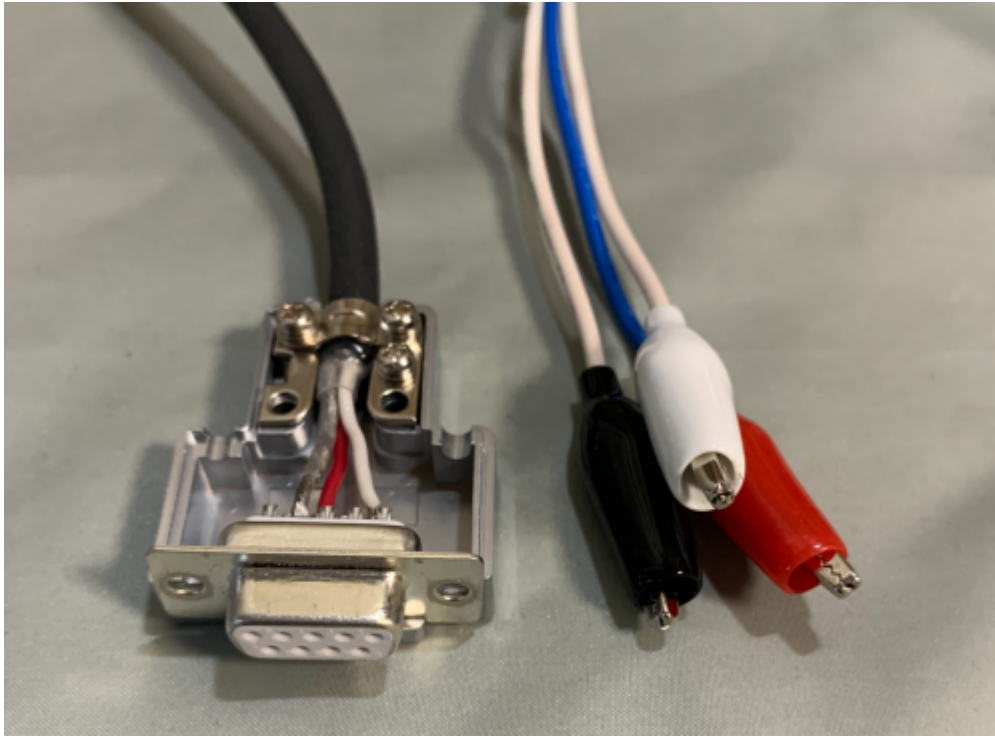
縦振キー

4ピン(DTR)と6ピン(DSR)に電線をハンダ付けして、その2本の線に電鍵を接続する。

エレキー

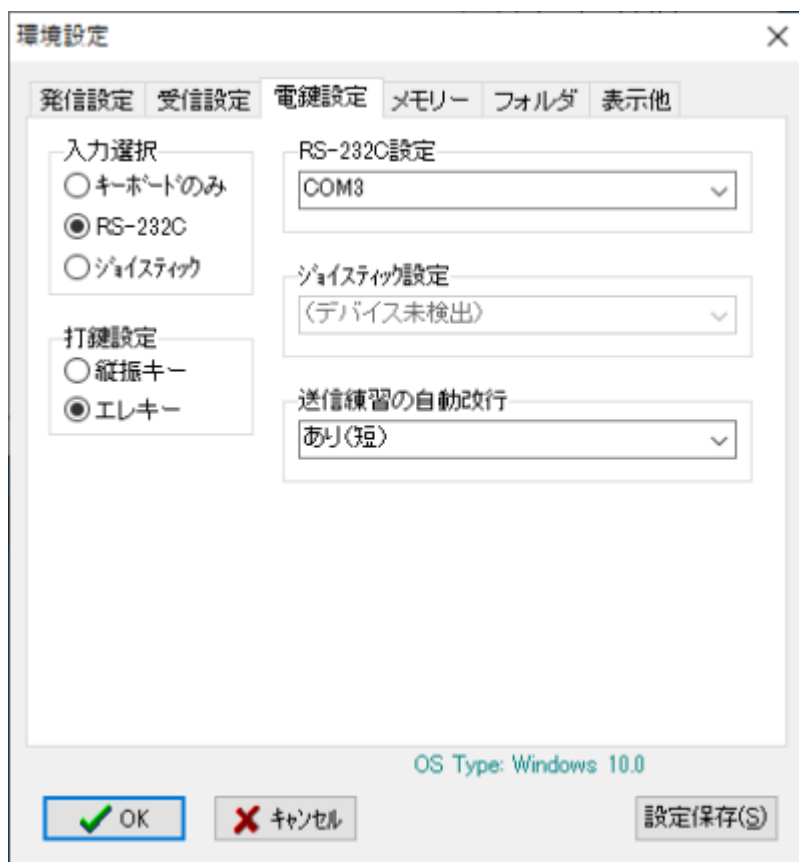
4ピン(DTR)を共通端子に、6ピン(DSR)を短点端子に、8ピン(CTS)を長点端子に電線をハンダ付けして、その3本の線に電鍵を接続する。

【ケーブル製作例】

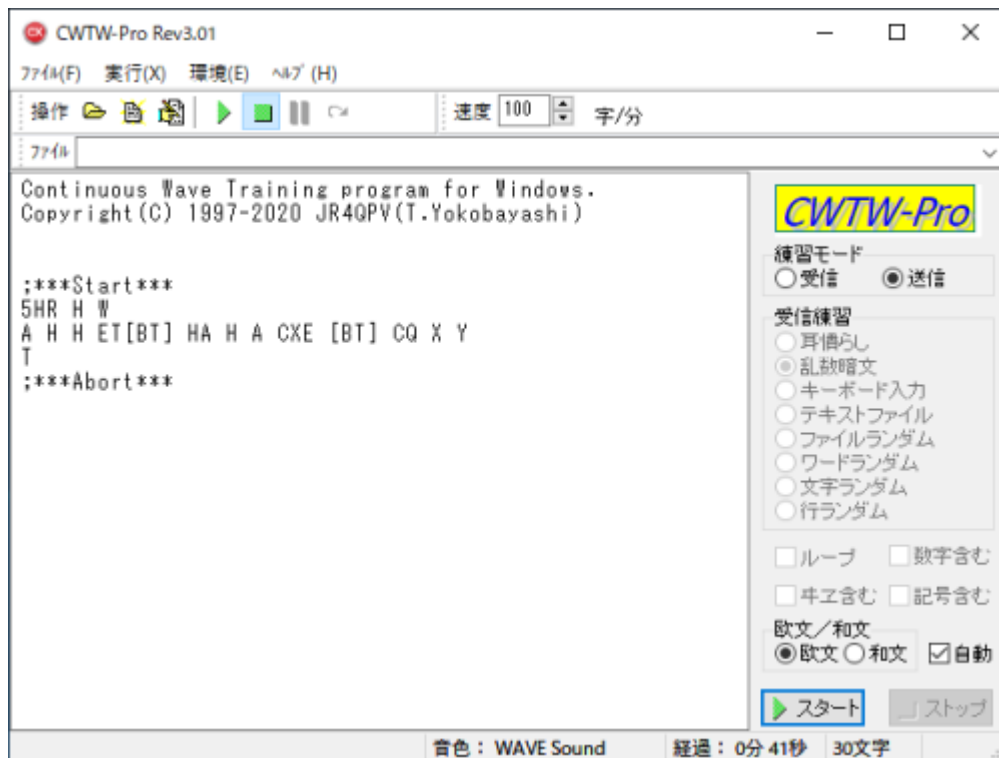


CWTW-Proで送信練習

CWTW-Proの環境設定で、前記で確認したCOMポート番号と、使用する電鍵の種類を設定しておく。



CWTW-Proを起動し、練習モードで [送信] を選んで [スタート] する。



電鍵の打鍵パターンをCWTW-Proが自動認識して、画面に文字を表示する。打鍵した文字の確認練習ができる。



参考

1. [PARIS速度等](#)
2. [平成30年第32回初級□□QSO教室テキスト - 京都CW愛好会](#)

[cwtw-pro](#)

From:

<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/> - 新石器Wiki

Permanent link:

<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/develop/cwtw-pro/cwtw-pro-send-mode>

Last update: **2026/07/28 13:16**

